

| | | |
|-----------|---|--|
| 科目名 | 倫理学概論 | |
| 担当者 | 村若 修 / MURAWAKA, Osamu | |
| 科目情報 | 人間文化<関連> / 選択 / 前期 / 講義 / 2単位 / 2年次 | |
| 科目概要 | 授業内容 | 倫理学の基本的な問題を、現代社会の状況にも照らし合わせながら考えてみたい。功利主義とカントの倫理学を基本に据えながら、生命倫理や環境倫理まで考察を広げるつもりである。 |
| | 到達目標 | 功利主義の基本的な考え方を理解する。 カント倫理学の基本的な考え方を理解する。 倫理学の諸問題について、自ら考え、表現することができる。 |
| 授業計画 | (1) 人を助けるために嘘をつくことは許されるか① (2) 人を助けるために嘘をつくことは許されるか② (3) 10人の命を救うために1人の人を殺すことは許されるか① (4) 10人の命を救うために1人の人を殺すことは許されるか② (5) 10人のエイズ患者に対して特効薬が1人分しかないとき、誰に渡すか① (6) 10人のエイズ患者に対して特効薬が1人分しかないとき、誰に渡すか② (7) エゴイズムに基づく行為はすべて道徳に反するか① (8) エゴイズムに基づく行為はすべて道徳に反するか② (9) どうすれば幸福の計算ができるか① (10) どうすれば幸福の計算ができるか② (11) 判断能力の判断は誰がするか① (12) 判断能力の判断は誰がするか② (13) 他人に迷惑をかけなければ何をしてもよいか① (14) 他人に迷惑をかけなければ何をしてもよいか② (15) まとめ | |
| 自学自習 | 事前学習 | <ul style="list-style-type: none"> ・テキストの該当箇所を前もって読んでおくこと。 ・意味のわからない用語は辞書等で事前に調べておくこと。 |
| | 事後学習 | <ul style="list-style-type: none"> ・2回おきに小レポートを課す。 |
| 使用教材・参考文献 | 【教】加藤尚武『現代倫理学入門』講談社1997（ISBN4-06-159267-X） | |
| 成績評価方法と基準 | <基準> 講義内容の理解が不十分な場合、不合格となることがある。 <方法> 期末試験による。 | |
| 備考 | | |